

報告・指示の仕方・受け方研修会

忙しい現場だから身に付けたいコミュニケーションの基本！

チーム力が激変
するスキル満載

1. 報告・指示が正しく伝わらないのはコミュニケーション技術の問題です

『報告』、『指示』が正しく伝わらないのは、コミュニケーションの知識・技術が不足しているからです。また、常日頃から行っている報告・指示ですが、しっかりとした知識と技術を持って報告・指示している方は、意外に少ないものです。

2. 指示の仕方を適切に行えば、職員が育ちます

細かく指示をしすぎては、職員は育ちません。逆に、大まか過ぎる指示では、職員は指示内容を適切に実行できません。職員が自ら考え、指示内容を着実に実施できるような指示をするためには、基礎知識・技術を上司が持つことが必須です。

3. 指示を適切に受ける事は、コミュニケーションの基礎

指示を適切に受けるための基本は、上司の話を『(自分の言葉に置き換えないで) 正確に聞く事』です。しかし、実際には聞いた内容を、直ぐに自分の解釈で捉えてしまい、指示内容を正しく把握していない事がとても多いのではないのでしょうか？

4. 報告技術の習得は、業務を見つめ直す機会となります

『報告』とは、伝えるべき事柄を①把握し②整理し③組み直し④伝えるという一連の作業です。報告の技術を身につけ、日頃から自分の業務を点検する機会をつくることは、職員の資質の向上を図る上でも重要です。

報告・指示の仕方・受け方を標準化でチームワークが良くなり組織力が高まる！

新人や上司、指導担当者のための研修！内部研修でも活用可能！

カリキュラム

研修内容 9:30~16:30

1. 報告・連絡・相談の意味と重要性
2. 指示の基本
指示の仕方(伝える技術)
指示の受け方(聴く技術)
3. 報告の基本
報告の仕方(伝える技術)
報告の受け方(聴く技術)
4. 報告の実際(演習)
5. まとめ

10/11開催

明日から実践できる手法を学ぶ！

募集要項

受講料金：10,000円

会場：沖縄船員会館

那覇市前島 3-25-50

美栄橋駅下車 徒歩 10分

問合せ先：お茶の水ケアサービス学院

TEL 03-3863-4000

FAX 03-3863-4006

受講対象：全ての職員、経営者等

講師 神 智淳(じん とみあつ) 老年学修士 お茶の水ケアサービス学院 学院長
福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員の指導・育成に従事。公益団体との共同研究や外部評価に関する講演や執筆活動を行うと共に、介護施設等のコンサルティング(職種間連携を主に担当)を行う。厚生労働省の老健事業として、福祉用具サービス計画書作成のガイドライン策定にも関わる。

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	役職	
		事業所名	
住所	(〒 -) (事業所・自宅)		
TEL		FAX	

注意：お申し込み後、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。尚、申込日に関わらず9/27以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。
※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。